

11月5日ㄠㄠㄠ財団月間 がバナー公式訪問・東良輝がバナー

地区大会お疲れ様でした。素晴らしい地区大会でした宇部西クラブを中心にチーム宇部での開催本当にお疲れ様でした。地区大会での宇部クラブの表彰は米山記念奨学会個人平均寄付額賞。個人表彰も沢山ありましたがやはり吉村亨さんの48年間100%出席です。記念講演は筑波大学名誉教授の村上和雄先生による「遺伝子ワニにして可能性を引き出す」、小ばなしを交えた爆笑の連続で笑いは血糖値を下げる効果があるので糖尿病の処方箋に「お笑いビデオ」を出したら良い。くすりにには副作用があるがこれにはない、くすりにには必ず副作用があります。副作用のないくすりはきかない薬になります。

小ばなしなのか本当の話か…

英語の苦手な元某総理大臣(太めの大柄な、今、ラグビーの会長)訪米して大統領と会うことで通訳同伴なので英語はまかしておけばよかったはずが最初の挨拶ぐらいは、英語でとなり、まずハローと言うと、向こうがファインサンキューとくるので、ミーツと返して下さい。

当日、クリントン大統領と対面して、少し緊張していたのか…

ハローをフーアアアと言ってしまった。クリントンは少しビックリして、アメリカ人はユーモアが好きなのでユーモアだと思ったんですね。そこでアイム、ヒラリーハズバンドと返したそうです。さすがですね。そのあと、某総理大臣はミーツと返したそうです。

11月1日は宇部祭りで大変良い天気にも恵まれ大変盛り上がりしました。第64回宇部まつりは、昭和9年に、商工会議所の音戸で始まった祭りです。元々は市制記念日の祝賀行事に端を発し、当時は「炭都祭」と称していました。11月1日の市制記念日には商工会議所の仮装行列、広告行進隊、3日は玉替え、菊花展、文芸展など。夜店なども多数出て、宇部市の秋の大祭として年々賑やかさをくわえ、宇部の市民生活に根をおろしていききました。昭和11年には「炭都祭」を「宇部石炭まつり」と名称をかえて太平洋戦争でやむなく中止となるまで続けられました。戦後になって、昭和27年に今度は「石炭祭」という名前で復活、さらに昭和37年には市民総参加の祭りという意味で、「宇部まつり」と改称し、今日では環境・先進都市、宇部の元気を発信する祭りとして、魅力的に生まれ変わり、宇部近郊はもとより山口県内外から多くの皆様に参加して頂いています。

次々年度会長立候補

宇部ロータリークラブ細則

第2条 理事及び役員選挙

第1節 次々年度会長(会長ノミニ一)の選挙

- (1) 次々年度会長候補者は、指名委員会による推薦候補者並びに正会員3名以上の推薦による候補者とする。
- (2) 当該年度の会長は、年次総会1ヶ月前の例会において立候補者を会員に求めなければならない。12月3日が年次総会
尚、立候補者の締め切りをその1週間後の例会までとし、締め切り後の例会において、候補者名を会員に通知するものとする。
締め切りまでに立候補がない場合、会長は指名委員会に再度候補者の推薦氏名を委託する。
- (3) 次々年度会長候補が1名である場合、年次総会において選挙はしない。従って、候補は必然的に次々年度会長に選任される。 12月3日が年次総会

第2節 理事及び役員の選挙

年次総会の1ヶ月前に選挙管理委員会の委員長の指名を済ませ、少なくとも年次総会2週間前までに6名の選挙管理委員を指名しなければならない。